

やちまた

第7号

文化財ボランティア通信

—平成27年7月—

八街市教育委員会が推進する文化財保護・活用・継承のための市民・行政協働事業の一環として、文化財ボランティアの活動状況や文化財情報などをお知らせします。

本号では、第6号発行以降、約4年間の文化財ボランティア活動を振り返ります。

●第6号以後の文化財ボランティア活動を振り返る

八街文化財同好会

会員数11名：男性8名・女性3名（平成27年4月1日現在）

平成20年7月に開始した「郷土資料館収蔵資料整備作業」は、平成25年7月までに33回の活動を数えました。農具や民具のほこり・錆びを丁寧に落とし、中にはベーゴマといった細かいものまでひとつひとつ磨きあげ、整頓して収納されました。

また、平成24年2月からは、小谷流区の旧家から借用した古文書のうち、長く大量に所蔵されていた新聞の整理作業にも取りかかりました。この作業は、主に昭和32～35年頃に発行された新聞から、八街に関連した記事を抽出する、地道で細かい作業でありました。中には明治時代中頃に発行された「^{よろず}萬朝報」や「東海新聞」など、非常に珍しく貴重な新聞も保存されていました。

この「古文書(新聞)整理作業」は、同好会の皆さんの熱意と努力の積み重ねにより約3年間、33回に渡って続けられ、平成27年2月をもって終了しました。

平成27年4月からは、郷土資料館収蔵庫整備作業を再開しています。



郷土資料館収蔵庫整備作業のようす



古文書(新聞)整理作業のようす

文化財ボランティア応援講習会

文化財ボランティアの皆さんの、日ごろの文化財保護活動に役立つ知識を深めていただくことを目的として、文化財ボランティア応援講習会を実施しました。

○平成23年11月19日(土) 「御成街道の一里塚と関連史跡～千葉市・八街市・東金市・大網白里町」

〔17人参加〕

慶長18年(1613)に徳川家康が佐倉城主土井利勝に命じて造らせた、船橋～東金間約40kmをほぼ一直線に結ぶ道路「御成街道」に、8ヶ所設置されたとされる里程標「一里塚」のうち、現存する3ヶ所(千葉市千城台・千葉市富田町・八街市上砂)と、御成街道に関連する史跡を見学しました。

○平成25年12月4日(水) 「佐原の町並み～香取神宮～観福寺の見学」〔16人参加〕

「町並みボランティアガイド」の案内で、重要伝統的建造物群保存地区「佐原の町並み」を見学しました。ガイドさんの熱を帯びた解説により、町並みに住む方々の建造物保存に対する思いや、日本最初の実測日本地図を作り上げた伊能忠敬について詳しく知ることができました。

香取神宮で昼食をとり、午後は観福寺を見学しました。お寺の方による案内で境内を巡り、収蔵庫に保管されている国指定重要文化財「懸仏」を見せていただきました。



佐原の町並み



観福寺



国指定重要文化財「懸仏」の見学

○平成26年10月11日(土) 『御成街道散策会』におけるサポートスタッフ講習①〔14人参加〕

11月5日(木) 『御成街道散策会』におけるサポートスタッフ講習②〔16人参加〕



ミーティングのようす



現地整備

平成26年11月8日(土)に実施した『御成街道散策会』にて、文化財ボランティアの皆さんに当日のサポートスタッフとして活動していただくための事前講習を行いました。

講習は全2回で実施し、散策会が事故なく安全に行えるよう入念に準備を整えました。

協働でまもる・協働でつたえる

「地域の文化財は地域の方々とともにまもる」これが、文化財保護における『協働』の考え方です。教育委員会では文化財ボランティアの皆さんのチカラをお借りして八街の文化財の保護・周知活動を行っています。

○平成24年7月1日(日) 砂区・日枝神社『カタクリ群生地』環境整備〔10人参加〕

砂区・日枝神社の境内は氏子会及び砂区の皆さんにより管理・保護されています。

この日は毎年7月1日に行われる『宮薙ぎ』に参加し、地域の方々と協働で境内の除草作業などを行いました。



○平成25年3月9日(火) 市指定史跡『小間子牧野馬捕込跡』環境整備〔8人参加〕



『小間子牧野馬捕込跡』の外周に、進入防止のための柵を設置しています。この日は、経年により傷んだ木杭の交換を行いました。

○平成26年11月8日(土) 『御成街道散策会』を実施〔19人参加〕



市内・外から40人の参加者を募り、御成街道にまつわる史跡をめぐる散策会を実施しました。

文化財ボランティアの皆さんは、当日スタッフとしてガイドのサポートや参加者の安全確保を担当し、文化財ボランティア応援講習会での準備の成果を大いに発揮していただきました。

社会教育課・文化財班から

平成27年度の文化財ボランティア登録者は21人です

文化財同好会11人、個人で10人の方にご登録いただいています。

本年度は、平成22年度からこれまで5年間、文化財班が市役所内で人工栽培したカタクリを、文化財ボランティアの皆さんと一緒に砂区・日枝神社のカタクリ群生地に移植したいと考えています。



また、11月には一般参加を呼びかけ、『根古谷城と古村めぐり』と題した、根古谷城跡などの文化財の現地散策会を企画しています。

そこで、今年も文化財ボランティアの皆さんにスタッフとして参加していただきたいと考えています。

本年度も皆さんにご協力をいただきながら、文化財の保護・周知をすすめてまいります。

文化財や周知用立看板の被害を発見したら

今年も梅雨が明け、暑い夏がやってきました。しかし、台風の到来が後を絶ちません。

文化財ボランティアの皆さんには、文化財パトロールをお願いしているところです。市民の皆さまも、台風やゲリラ豪雨のあとなどに、文化財や周知用立看板の破損や汚損を発見しましたら、社会教育課文化財班へご連絡願います。



永福寺の周知用立看板を修復しました

この通信紙に対するご意見・ご要望、または、文化財保護やボランティア活動に対する思い、ご意見・ご要望などがありましたら、社会教育課文化財班へお寄せください。可能な限りこの通信紙に掲載して、皆さんへお届けします。

やちまた文化財ボランティア通信 第7号

発行日 平成27年7月31日

編集・発行 〒289-1192 千葉県八街市八街ほ35番地29

八街市教育委員会 社会教育課 文化財班

Tel : 043-443-1464 Fax : 043-443-1448

e-mail : shakyo@city.yachimata.lg.jp